

令和3年度 第3回本郷新記念札幌彫刻美術館運営協議会 議事録

令和4年2月4日、本郷新記念札幌彫刻美術館館長 吉崎元章が本郷新記念札幌彫刻美術館運営協議会委員に対し、第3回本郷新記念札幌彫刻美術館運営協議会の協議事項について下記の書類を発送し、当該事項について令和4年2月 11 日までに5名の委員から別添のとおり書面により確認の意思表示を得たので、本運営協議会を開催したとみなされた。

記

1 発送書類

資料1 本郷新記念札幌彫刻美術館 令和3年度事業報告

資料2 本郷新記念札幌彫刻美術館 令和4年度事業企画状況

2 返送書類

令和3年度 第3回 本郷新記念札幌彫刻美術館運営協議会 議事についての確認書

3 議事

5名の委員の確認を得た。

4 意見

加藤(大倉山小 PTA): いろいろと工夫された企画をいくつもされていたこと、素晴らしいと感じている。このような状況(コロナ禍)だからこそ、芸術や美術の意義があるように思う。

渋谷(三角山小学校): 本校教育課程への位置づけをより明確にして活動に取り組みせていただきたい。

児玉(宮の森明和会): ご協力させてもらうと同時に美術館の運営がうまく進行することを祈る。

國松(彫刻家): 従来の調査に肉付けをしていくことも美術館としてとても大事な仕事。「さっぽろ雪像彫刻展」も大事な冬のイベントである。

高橋(彫美友の会): 芸術系の大学でも彫刻に関する学科の縮小や統合がなされている。少しずつでも青少年に興味を持たせる事業を増やして欲しい。

以上

以上のとおり、第3回本郷新記念札幌彫刻美術館運営協議会が開催されたことを明確にするため、次に吉崎元章館長の押印をする。

令和 4年 2月 11日

本郷新記念札幌彫刻美術館

館長 吉崎 元章 印